

独立行政法人雇用・能力開発機構について
《事務・事業説明資料》

法人概要

《基礎データ》

役員	6人	うち厚労省出身者	0人
職員	3,588人	うち厚労省出身者	0人
予算	5,418億円	うち国からの財政支出	855億円

* 役職員数は平成22年4月1日現在、予算額は平成22年度の数値

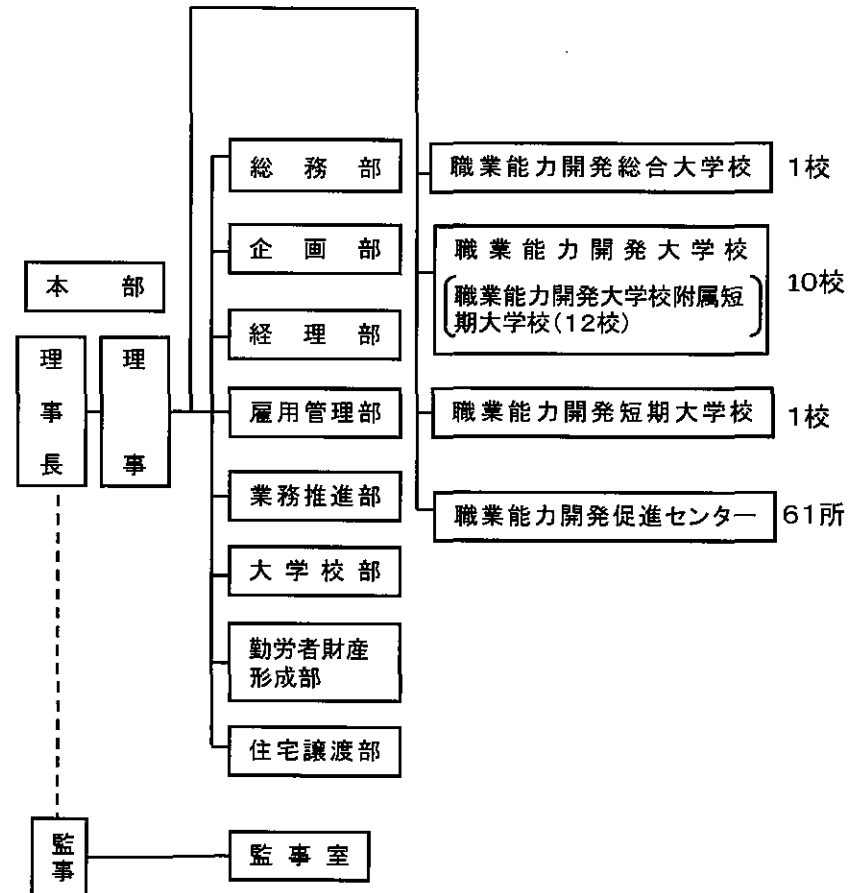
* 22年度から、厚労省出身者の役職員が0人となった。

《主な事務・事業》

事務・事業	予算	うち国からの財政支出
職業能力開発総合大学校(相模原)	37億円	32億円
職業能力開発総合大学校東京校(小平)	21億円	19億円
職業能力開発大学校(10校) 職業能力開発大学校附属短期大学校(12校) 職業能力開発短期大学校(1校) (ポリテクカレッジ)	186億円	156億円
職業能力開発促進センター(61所) (ポリテクセンター)	369億円	358億円
雇用促進住宅	289億円	0円

《組織体制》

本部	8部1室
地方	職業能力開発施設等 73施設



(1) 職業能力開発総合大学校

1 設置目的

産業構造の変化や技術革新等に伴う訓練ニーズの変化に対応した訓練指導員の養成と再訓練を行う我が国で唯一の施設。



職業能力開発総合大学校外観

2 施設数 1校

3 訓練内容 職業訓練指導員の養成訓練（学生120名定員、4年間） ・ 再訓練

4 訓練規模

養成訓練（20年度）	925人
再訓練（20年度）	1,618人（うち都道府県等の指導員：1082人）

5 養成訓練の就職率（平成20年度） 98.9%（うち指導員39.1%）

6 予算（平成22年度）

合計32億円（人件費17億円、管理運営費（光熱水料、警備委託等）3億円、業務費（訓練機器リース代、機器整備等）12億円）

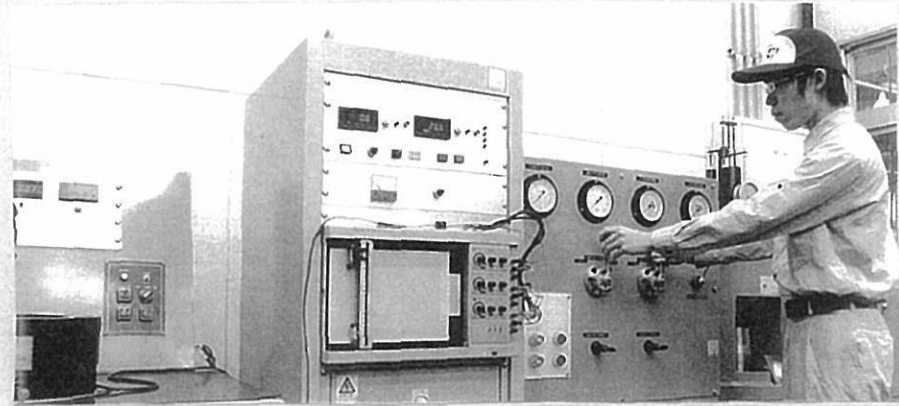
7 職員数（平成22年度） 175人

8 学科 機械システム工学科、電気システム工学科、電子情報システム工学科、建築システム工学科

職業訓練風景の例(職業能力開発総合大学校)

最新機器を活用した技能・技術

自動車車体などに使用される金属板材の性能の試験をしている様子



木造住宅の鉄筋コンクリート部分を補強方法に関する実験をしている様子

(2) 職業能力開発大学校・短期大学校（ポリテクカレッジ）

1 設置目的

高校卒業者等を対象に、高度なものづくり分野において、生産技術・生産管理部門のリーダーとなり得る中核的な人材を育成する施設。

2 施設数 11校（大学校10校、短大1校）
（その他大学校附属短大12校）

3 訓練内容 学卒者訓練（2年間又は4年間）



関東ポリテクカレッジ外観

4 訓練規模（平成20年度） 7,303人

※ ポリテクカレッジは1所平均358人、附属短大は1所平均183人

5 就職率（平成20年度） 96.8%

6 予算（平成22年度）

合計156億円（人件費91億円、管理運営費（土地借料、光熱水料等）18億円、

業務費（訓練機器リース代、機器整備等）47億円） ※ 1所平均6.8億円

7 職員数（平成22年度） 951人

8 主な訓練科目 生産技術科、制御技術科、電子情報技術科